



ニッサン ウィングロード

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

5270/5271/5272

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。

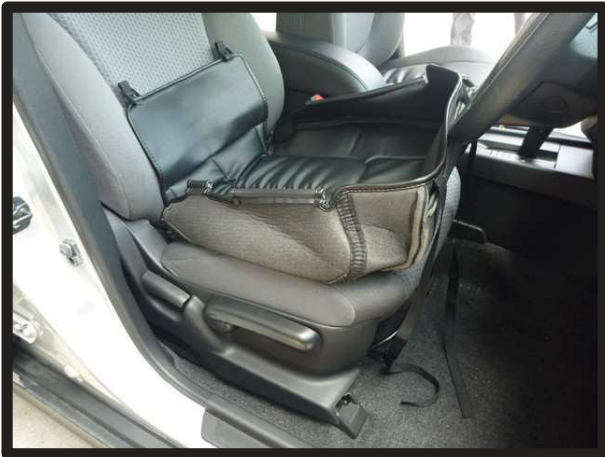


- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。

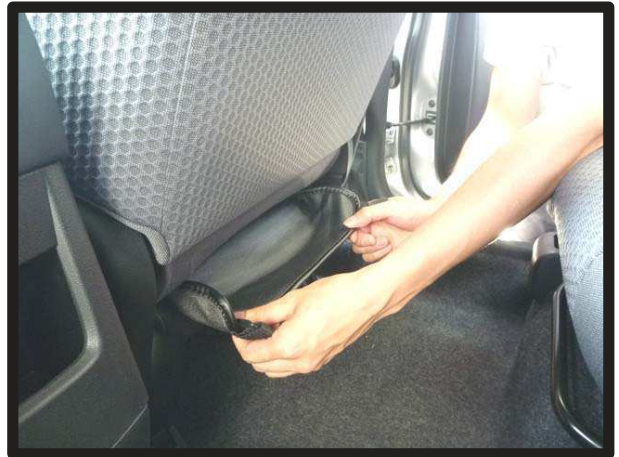


- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

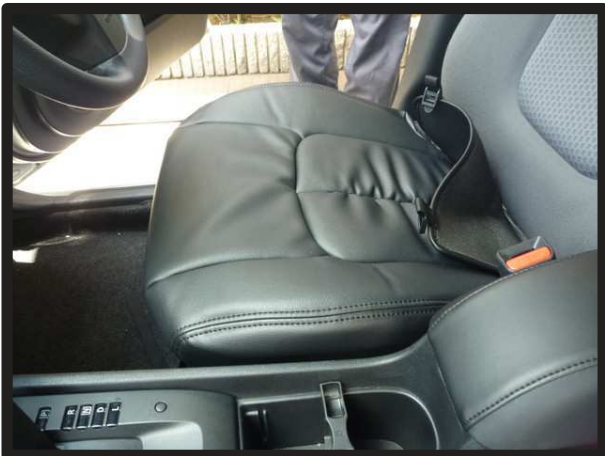
1 列目座面



①カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



④入れ込んだ生地をシート背後から引き出します。

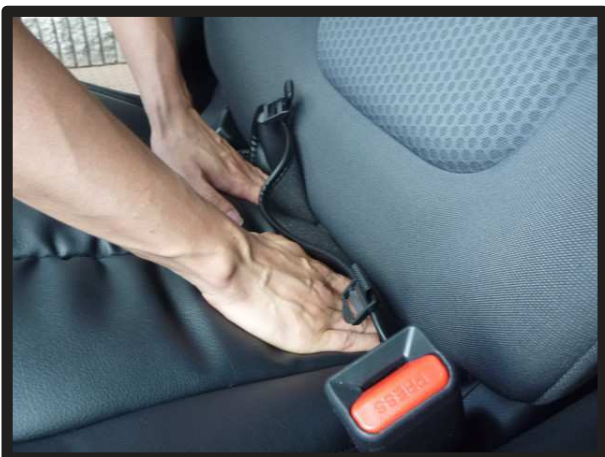


②シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせていきます。

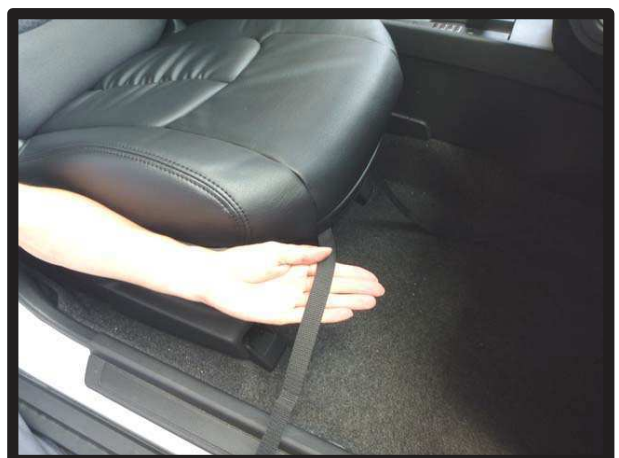


⑤背もたれ付け根部分の生地を、プラスチック部分とシートの隙間に入れます。

※助手席シートバックテーブル装着車の場合は4ページを参照して下さい。

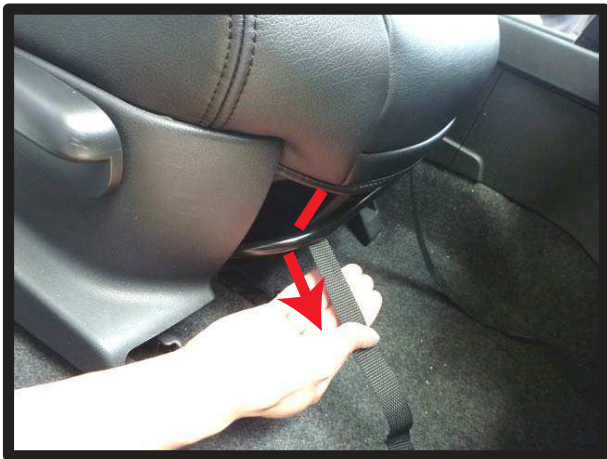


③座面と背もたれの隙間にバックルの付いた生地を入れ込みます。

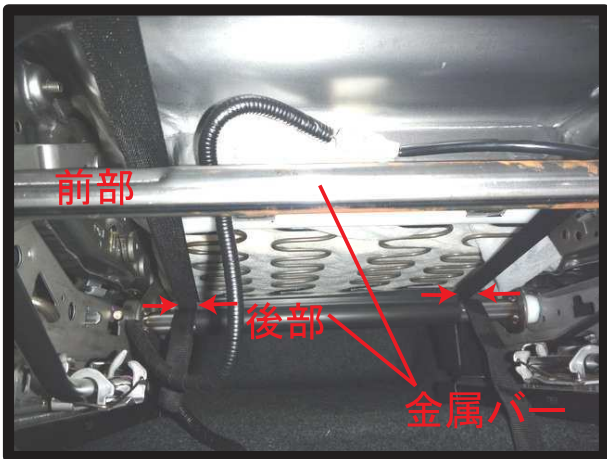


⑥カバーの前側に付いているベルトを座面下に通します。

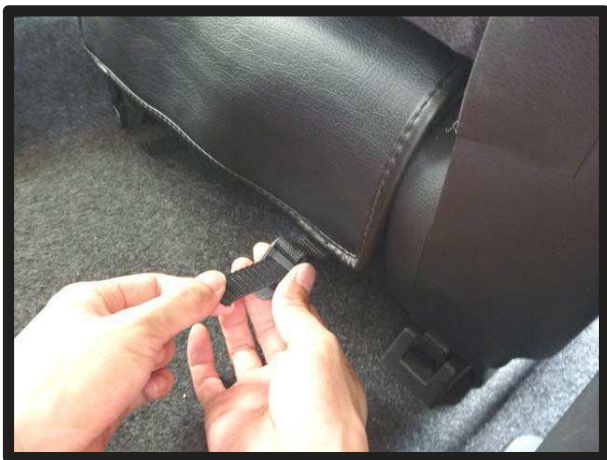
※運転席座面後方カバー装着車の場合は3ページを参照して下さい。



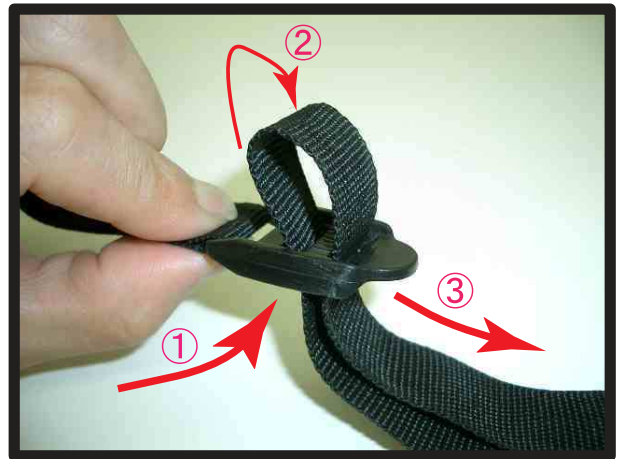
⑦ベルトを座面下に通す際、前部のスライドレバーの上を通します。



⑧ベルトは座面下の前部と後部にある2つの金属バーの上を通します。
※後部は金属バーの上の左右の隙間に通します。



⑨座面後ろからベルトを引き出し、ベルトをバックルに通して固定します。
※グレードによりシート形状に違いがあり、バックルが前後逆に付いている場合もあります。バックルが前に付いている場合はベルトを前側に引き出して固定して下さい。



⑩ベルトの固定方法は、最初にベルトを図のように真ん中の穴に通し、次に右端の穴に通します。通したベルトを引くことでカバーの前後が締まり固定されます。

※ベルトは強く引きすぎると切れる恐れがありますので、ご注意ください。



⑪背面の両端部分で、はみ出している生地はヘラなどを使用してプラスチック部分の隙間に入れ込みます。

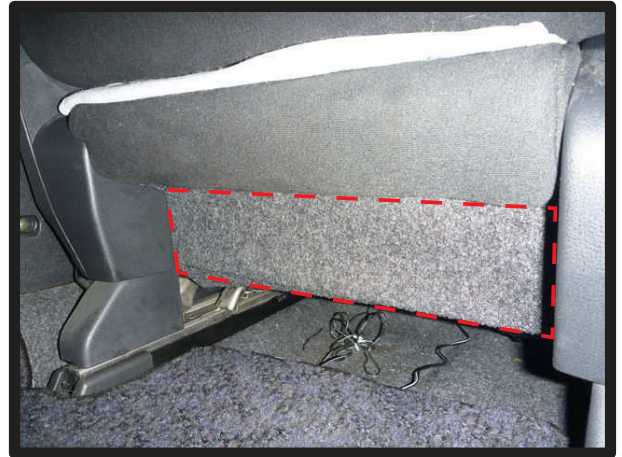


⑫カバー両サイドの固定パーツです。
※図は運転席外側面です。

※運転席座面後方カバー
装着車の場合（運転席座面）



⑬カバー側面を固定するためにヘラなどを使って、シートとプラスチック部分の隙間に固定パーツを入れ込みます。



①運転席座面後方がシート生地によって覆われている場合には、ベルトをバーの上に通す必要から、シートカバー装着時、プラスチックのフックを外す必要があります。



⑭シートのラインとずれていないか確認して1列目運転席側座面の完成です。
※助手席側も同様に取り付けます。



②座面下の金属バーに掛けられているプラスチックのフックを取り外します。



③②で取り外したプラスチックのフックを上巻き上げ、その下にベルトを通し入れます。

※助手席シートバックテーブル
装着車の場合（助手席座面）

1 列目背もたれ



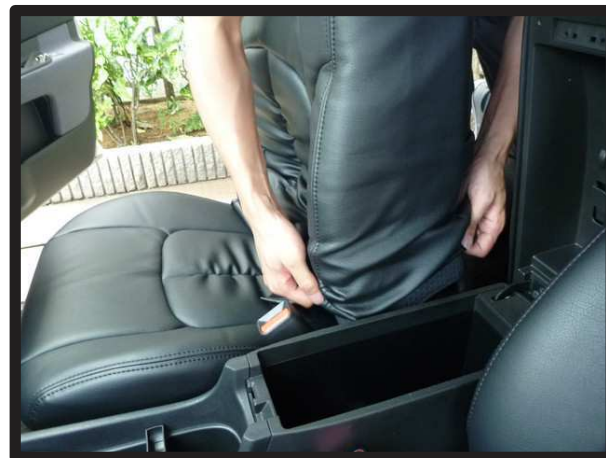
①助手席座面のカバー両サイドに付いているゴムにS字フックを取り付けます。



①背もたれのカバーを装着前に半分ぐらい裏返しておき、シートのラインに合うようにかぶせていきます。



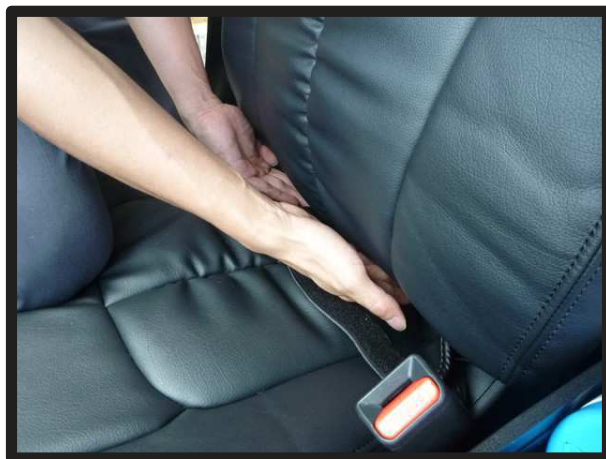
②S字フックの付いたゴムは座面とシートフレームの間の穴に通し入れます。



②両手でカバー側面を持ち、徐々にカバーをシート全体へかぶせていきます。



③②で通し入れたS字フック付きのゴムを座面下から引き出しシートに引っかけて固定します。



③座面と背もたれの隙間に生地を入れ込みます。



④図の①～③の手順で生地をなで降ろし、背もたれ中央下に寄った生地を座面と背もたれの隙間から背面に引き出します。この作業を繰り返してシートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



⑤4ページの③で入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



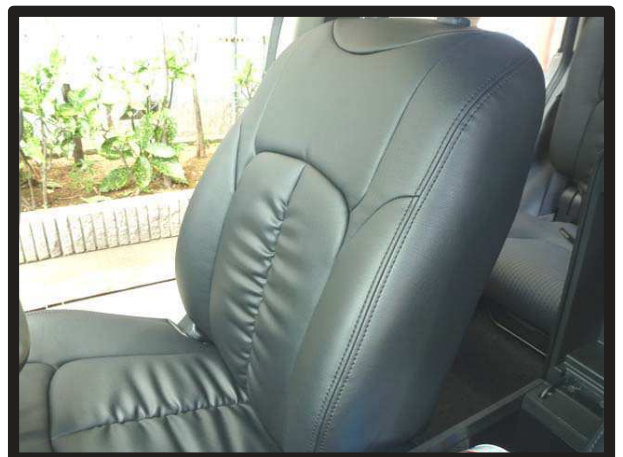
⑥引き出した生地をカバー背面下の生地とマジックテープで固定します。



⑦ヘッドレストの台座部分を取り出します。調節ボタンが付いている方の台座は、ボタン側から生地を引き出して台座の下へしっかりと潜り込ませます。



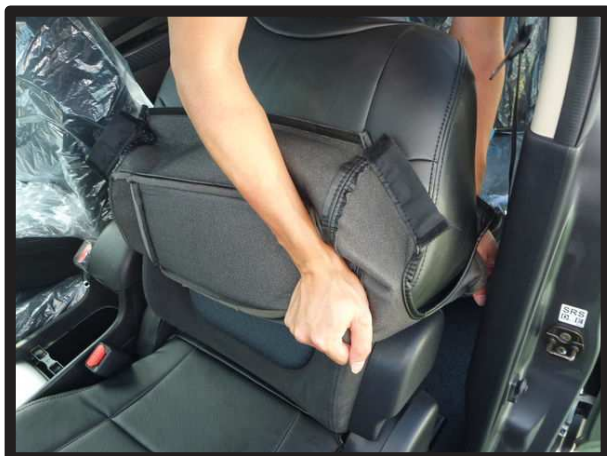
⑧生地伸びを利用して、台座を取り出します。



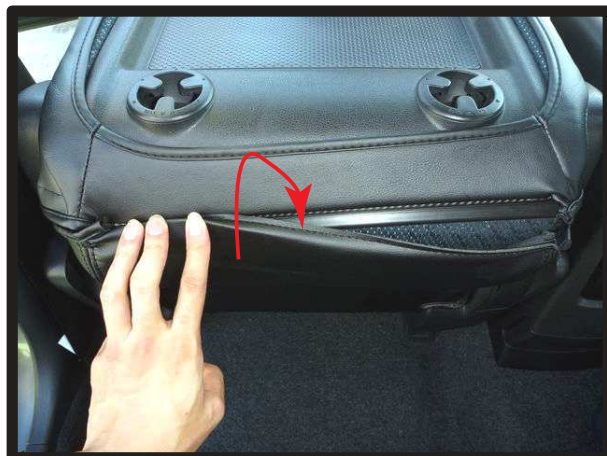
⑨シートのラインとずれていないか確認して1列目運転席側背もたれの完成です。

— 5 — ※助手席側も同様に取り付けます。

※助手席シートバックテーブル
装着車の場合（背もたれ）



①助手席シートバックテーブル装着車の場合、運転席同様、背もたれカバーを装着前に半分程裏返しておき、シートラインに合うようにかぶせていきます。



④6ページの②で引き出した生地についているプラスチックのフックと背面の生地についているもう一方のプラスチックのフックを固定します。



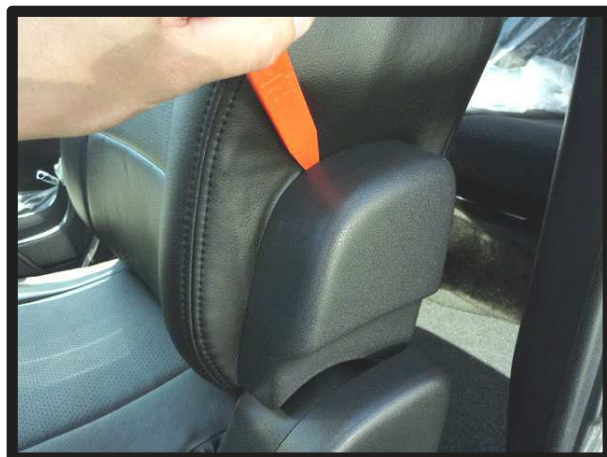
②背もたれを前に倒し、座面と背もたれの隙間から生地を引き出します。



⑤15ページの⑦を参考に固定すると写真のようになります。



③背もたれを前に倒した状態で、側面のマジックテープを固定します。



⑥背もたれ側面のプラスチックカバーからはみ出した生地はヘラなどを使って、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。

2列目座面



①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



②シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせていきます。



③座面と背もたれの間隙間にプラスチックフックの付いた生地を入れ込みます。



④背もたれを倒し、背もたれ背面下部に続くボードを荷室方向から上に持ち上げ、座面と背もたれの間隙間に入込んだ生地を後ろから引き出します。



⑤引き出した生地についているプラスチックフックを、シート生地を止めているフックの上から、本体の金属バーにひっかけて固定します。

※シート形状により、カバーにマジックテープも付いている場合がありますが、その場合はマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



⑥シート正面に来るカバーのプラスチックフックをスライドレバーの上を通し、⑤と同様に本体の金属バーにひっかけて固定します。

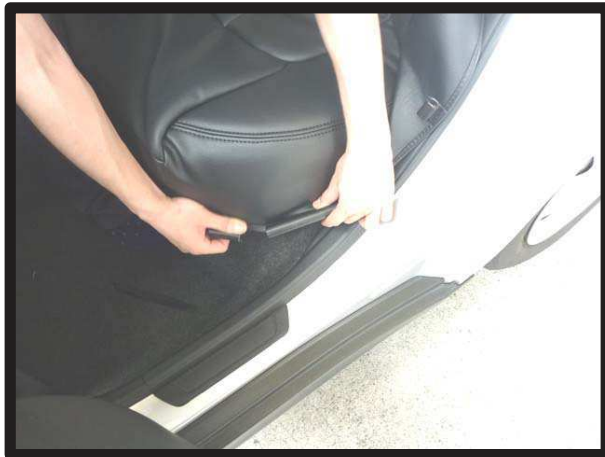


⑦プラスチックのフックを固定すると図のようになります。

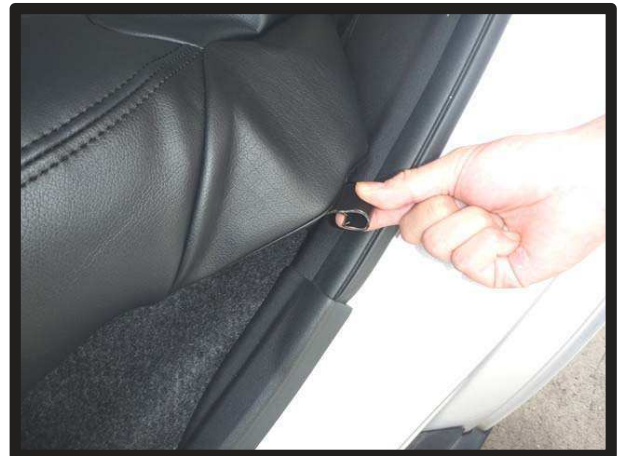
※シート形状により、2列目座面下マジックテープ固定タイプのカバーがありますが、その場合は10ページを参照して下さい。



⑩プラスチックのフックを固定すると図のようになります。



⑧カバー側面の生地を引っ張りながらシートになじませます。



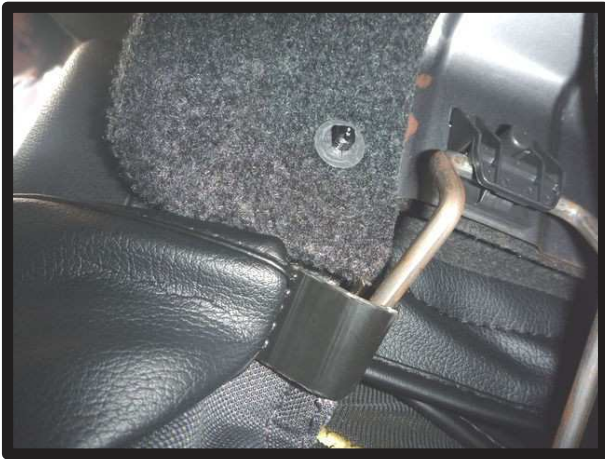
⑪カバー側面後方にも同じプラスチックのフックが付いています。



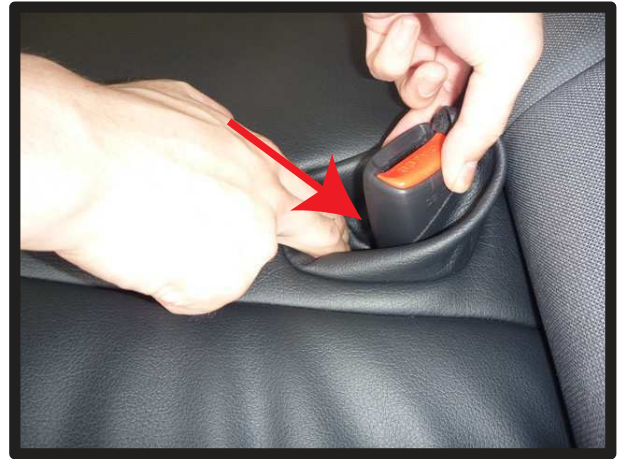
⑨カバー側面のプラスチックのフックを7ページの⑤と同様にひっかけて固定します。



⑫シート生地を上から挟み込みながら⑪のフックをヒンジをかわし、シートの生地裏へ回します。



⑬ 8 ページの⑫でシート生地裏に回したフックを本体の金属バーに引っかけて固定します。



⑭ シートベルトバックルをつまみ上げ生地を中に入れ込みます。



⑮ 正しく固定すると図のようになります。



⑯ シートベルトバックル部分は図のように収まります。



⑰ 背もたれ付け根部分の生地をプラスチック部分とシートの隙間に入れ込みます。



⑱ シートのラインがずれていないか確認して2列目座面の完成です。

※2列目座面下マジックテープ 固定タイプの場合



①2列目座面下のシート形状により、カバーはプラスチックフックとマジックテープの2つの固定タイプに分かれています。マジックテープ固定タイプの場合は装着の際、マジックテープを前面に引き出しておきます。



②後部座席を前にスライドさせ、マジックテープを座面下に入れ込み、折り返して奥の金属バーに引っ掛けて固定します。

2列目背もたれ



①カバーはあらかじめファスナーを開けておき両サイドを持ちながらかぶせていきます。

※ウォッシュブルラゲッジボード装着車の場合は13ページを参照して下さい。



②シートのラインに合うように、シワを伸ばしながらシート全体にかぶせていきます。



③座面と背もたれの隙間にマジックテープの付いた生地を入れ込みます。



④背もたれを倒し、シート本体の下方の生地の繋ぎ目を確認します。



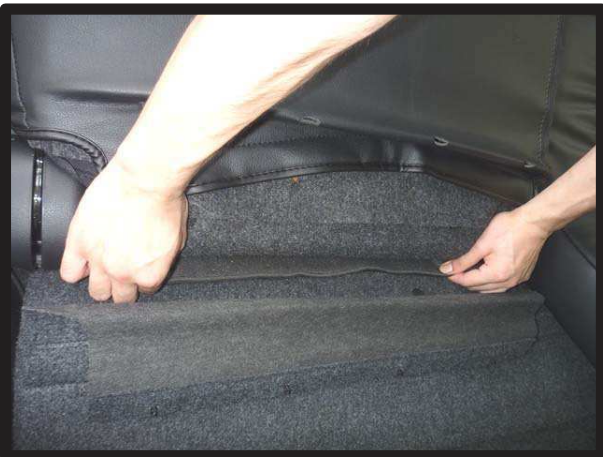
⑦シート本体の形状に合うようにカバーを取り付けていきます。



⑤ピンで留まっているので13ページ①同様へらなどを使用して慎重に取り外します。



⑧背面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を矢印の方向へ寄せながら、慎重に閉じて下さい。



⑥10ページ2列目背もたれの③で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑨背もたれ付け根部分の生地をシートとプラスチック部分の隙間に入れ込みます。



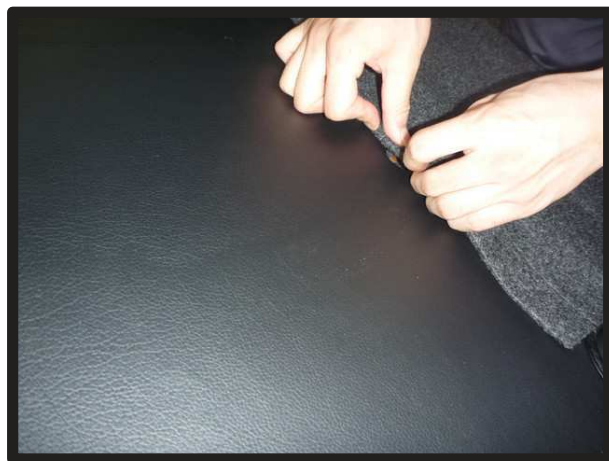
⑩背もたれを倒し、11ページの⑥で引き出した生地とカバーの背面の生地をマジックテープで固定します。

※ウォッシュブルラゲッジボード装着車の場合は13ページの③からの説明を参照して下さい。



⑬シートのラインとずれていないか確認して2列目助手席側背もたれの完成です。

運転席側の背もたれカバーは形状が異なりますが同様に取り付けます。



⑪11ページの⑤で外したピンをカバーの加工穴を通して、元のピン穴に留め戻します。

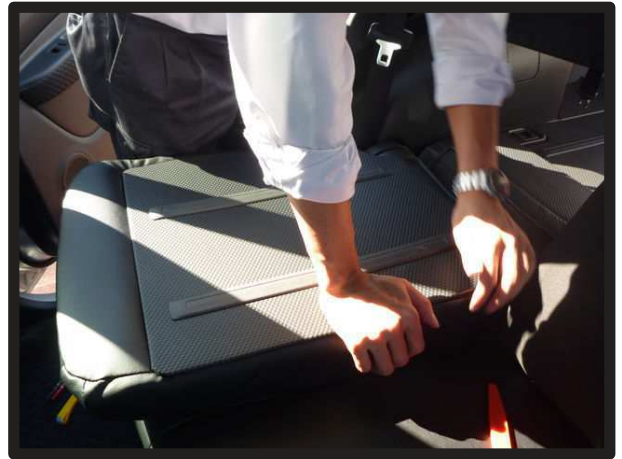


⑫全て留めると図のようになります。

※2列目背もたれウォッシュブル
ラゲッジボード装着車の場合



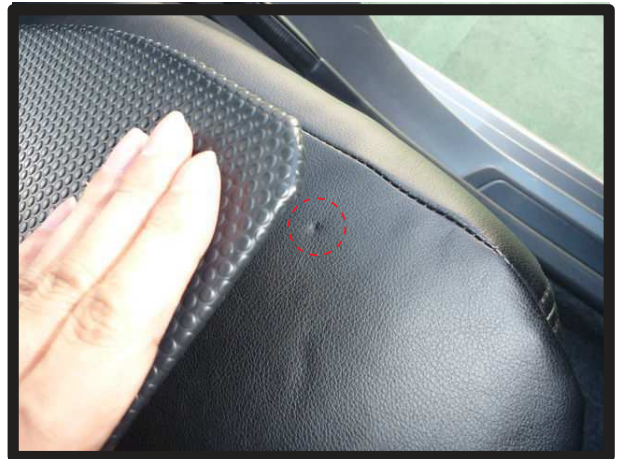
①背もたれを前方に倒し、ボードの留め具（ピン）をヘラなどを使用し、慎重に取り外します。



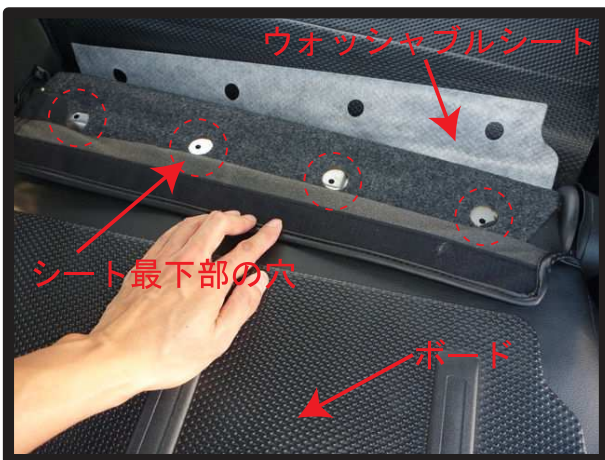
④ボードを上から押さえて、ピン跡がカバーに付くようにします。



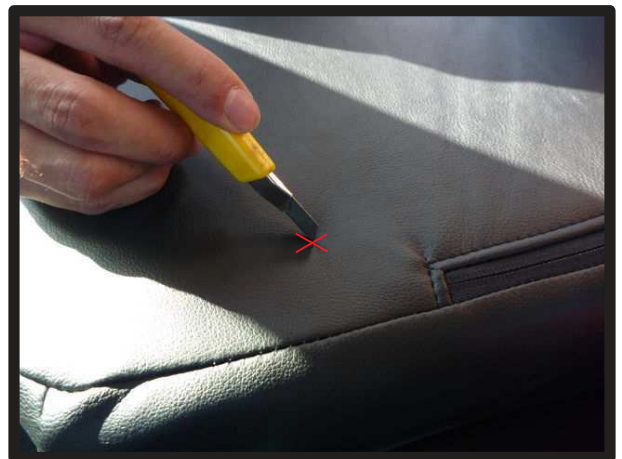
②ボードを取り外すと写真のような状態になるので、この上からシートカバーを取り付け、10ページからの2列目背もたれの説明手順に沿ってカバーを取り付けていきます。



⑤ボードを外しピン跡を確認します



③12ページの⑩同様カバーをマジックテープで固定します。カバー底部の穴とシート最下部の穴位置を合わせ、その上にウォッシュブルシートをかぶせ、ボードをシート最下部のピンの穴位置に合わせカバーを挟み込むようにして仮止めします。



⑥⑤で付いたピン跡をカッターなどを使用し、十字（5ミリ程度）に切り込みを入れます。

ヘッドレスト



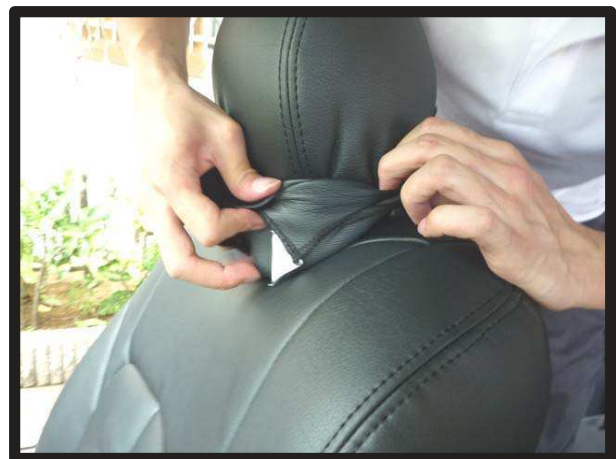
⑦開いた穴に再びボードのピンを合わせ取り付けます。



①カバーを装着前にあらかじめ半分程裏返しておき、ヘッドレストの頂点の生地が張るまでかぶせます。



②徐々にカバーをかぶせます。入りにくいところは本体のヘッドレストを指で押さえ込みながら、入れ込むとかぶせやすくなります。



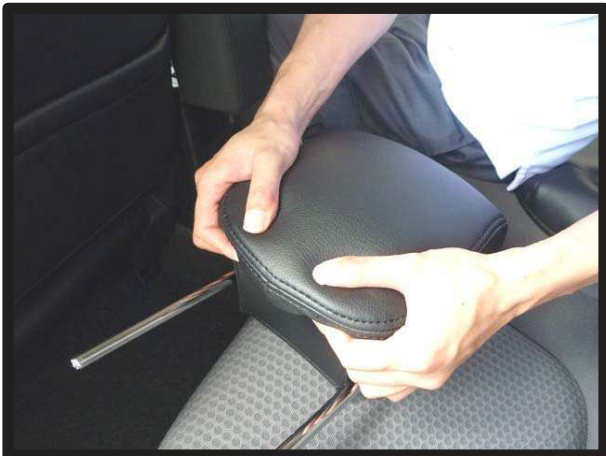
③ヘッドレストのラインからずれないように、カバー側面の両サイドを持ちヘッドレスト全体にかぶせます。



④ヘッドレストのラインに合うようにカバーを調節します。



⑦フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み、固定します。



⑤ヘッドレストをシートから外し、シワを伸ばします。



⑧ヘッドレストの底面は図のように収まります。



⑥ヘッドレストの底面でプラスチックのフックを固定します。



⑨ヘッドレストのラインとずれていないか確認して、ヘッドレストを背もたれへ戻し1列目ヘッドレストの完成です。

※2列目ヘッドレストも同様に取付けます。

アームレスト



①アームレストのフタを開けます。



④プラスチックのフックを外します。



②アームレストのフタの付け根のネジを外します。



⑤フタの内側部分を図のように外します。



③次にアームレスト上部のネジを外します。



⑥カバーをフタの付け根部分にひっかけてから、先端にかぶせます。

完成図



⑦カバーの余った生地をフタ内部に入れ込みます。
生地がはみ出る場合は 両面テープ
などを使用するなどして固定して下
さい。



⑧16ページの⑤で取り外したフタの
内側部分を元に戻します。



⑨アームレストのフタを元に戻し、ラ
インを整え完成です。



1列目



2列目



1列目・背面



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



Elazzio

SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.11i.co.jp



「快適カーライフ空間創造企業」

ELEVEN
INTERNATIONAL

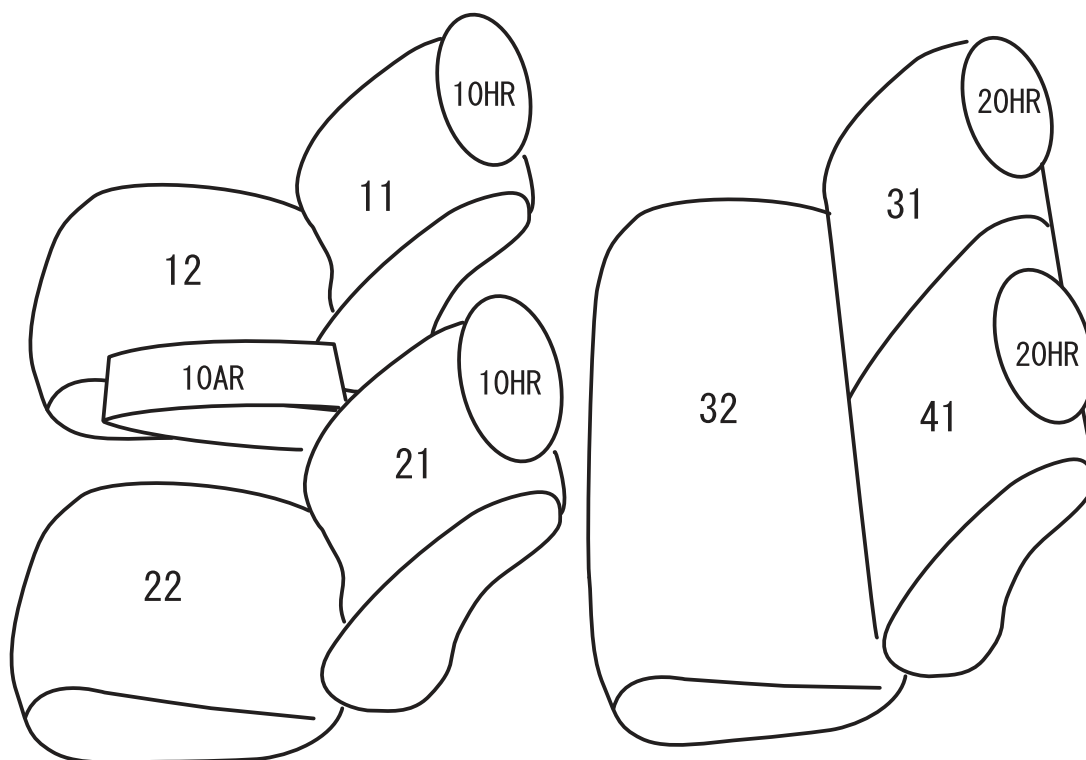
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

FAX.072-330-8816

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

①+ドライバー

②ヘラ